

**社会福祉法人 京都視覚障害者支援センター**  
**2019 年度 事業報告**

## 目 次

I	2019年度 法人概要	1
	はじめに	1
	1. 財政強化対策本部の設置	1
	2. 財政強化対策本部の検討内容	1
	3. ビジョン検討委員会・3年間の経過報告	2
	4. 2019年度最重要課題 障害者支援施設 洛西寮 定員充足への対策検討	3
II	各部門別報告	3
	A. 障害者支援施設「洛西寮」	3
	支援計画	3
	【各事業】	4
	1. 生活介護「ちくりん」	4
	2. 就労継続支援B型「らくさい作業所」	5
	3. 施設入所支援（夜間支援）	6
	【各サービス内容】	8
	1. 健康管理	8
	2. 食生活と栄養管理	9
	3. 歩行訓練	10
	4. 余暇活動支援（共通の活動）	11
	5. ボランティア支援サービス	12
	B. 三療事業部	13
	1. 盲人ホーム 美鈴	13
	2. 就労継続支援A型「らくさい治療院」	14
	C. 法人	16
	1. 事務局	16
	2. 点字出版施設「紫野点字社」	18
	3. 京都府失明者巡回生活指導員派遣事業	19
	4. 指定特定相談支援事業「障害者相談支援事業所 スマイルサポート」	20
	5. 主催行事	21
	6. 共催事業	23

# I 2019年度 法人概要

## はじめに

2006年からスタートした障害者自立支援法では、障害者福祉事業への民間企業の参入が認められた。多用な経営主体が利用者の立場に立ってサービスの質や多様性を競い、豊富な福祉サービスが提供されるようにとの狙いがあり、福祉分野にも市場競争の観点が盛り込まれ、民間企業とのイコールフィッティングが問われるようになった。

福祉サービスは措置から利用契約（当法人は2011年10月に新法へと移行）となり、社会福祉法人経営も「助成と規制」から「自立と自律」へと舵をとる必要があり、行政の厳しい財政状況での期待できない補助金等の公助に頼るのではなく、民間企業並みの自立した経営が求められるようになった。

当法人は開設以来、視覚障害者の福祉向上を目指して自負できるほど公益に資する事業展開を行ってきたが、ここ数年は慢性的な赤字状態が続いて法人の経営状態は大変厳しい状況である。2019年度は法人経営が安定的で継続的な発展を期するために、財政強化対策本部を立ち上げて経営改善への課題を検討し具体的な取組みを実施した。

## 1. 財政強化対策本部の設置

### 【 財政課題への取組み経過 】

#### ① 経営破綻への懸念

法人全体で2018年度は約1,258万円の赤字となり、この状態が続けば数年後には財政が破綻するという最悪の事態に直面する懸念。

赤字の主な原因は、利用者の定員割れによる収入減。

#### ② 2018年度財政再建推進委員会の設置

2018年12月に社会福祉法人経営者協議会による経営診断を受けた。経営診断の結果（できるコストダウンと収入増への方策検討・実施）を受けて、ビジョン検討委員会内に財政再建委員会を設置し、具体的な経営改善の検討に入った。

※コストダウンの検討内容＝人件費・厨房外注・法人研修旅行等

#### ③ 財政強化対策本部の設置

財政強化は法人の最重要課題として、2019年4月に理事長を本部長とする「財政強化対策本部」を設置。財政課題をより具体化するために検討を開始。

・2019年4月～ 12回開催した。

## 2. 財政強化対策本部の検討内容

#### ① 利用者確保対策 洛西寮利用ニーズのリサーチ・広報活動

- ・全日本盲学校教育研究大会会場にて洛西寮ブース設置による施設広報 7月
- ・ホームページの更新による、魅力有る施設の発信 10月
- ・近畿圏の視覚支援学校等への訪問活動 5カ所 10～11月

- ・盲学校への利用ニーズ把握のためのアンケート調査 11月
- ・老人ホーム待機者のニーズ調査等 2月
- ② 法人理念の決定 「希望に満ちた成長への喜び」
- ③ 生活介護の定員 20名を廃止し、就労B型の定員を 20名から 40名に増員  
(2020年4月)
- ④ コストダウン(人件費削減・法人研修旅行の中止・給食業務委託の総括と検討)
- ⑤ 点字出版部門のあり方検討
- ⑥ 盲人ホームのあり方検討
- ⑦ 中長期計画
- ⑧ その他

### 3. ビジョン検討委員会・3年間の経過報告

#### ① 2017年度の検討内容

2016年度の経常赤字決算の結果により、2017年度にビジョン検討委員会を立ち上げた。法人・事業所の現状と課題を分析し、制度や時代のニーズを問い直した上で、新たに発展すべき方向性と具体的な作業プランを明確にすることが設置目的。

会議にフレームワークを導入。6つの視点で法人及び施設を分析した。内部と外部に分類し、内部分析を、強み、弱み、課題、基盤とし、外部分析を、機会、競合とした。

これらを検討及び分析することで、法人の強み、ニーズ(必要性)や利用者と法人のマッチング及び外部から見る視点の重要性の理解を一年かけて取り組んだ。

#### ② 2018年度の検討内容

2017年度の法人及び各施設の分析を終えて、経営状況の把握、強み、弱み、必要性、課題等を共通認識とした。そこで明確になったことは屋台骨である洛西寮事業の再建と定め、まず取り組んだことは基本理念及び行動指針の検討であった。

次に、業務改善、人材育成の重要性を話し合い、そして、B型一体化への構想へと進んでいった。それと同時進行で、財政再建の必要性を打ち出し、2018年12月に財政再建推進委員会を発足した。

#### ③ 2019年度の検討内容

2018年度に基本理念及び行動指針案を決定し、理事会への提案後、法人の基本理念及び行動指針が決定された。そして、財政再建推進委員会を発足後、2019年4月に財政強化対策本部が立ち上がり、財政強化及び長期計画の会議としてその役割を果たすこととなった。

洛西寮の日中活動を、B型へ一体化するための人員配置やプログラム等を具体的に検討し、京都市への相談や認可手続き等を経て、2019年4月より本格稼働するに至った。

ビジョン検討委員会において、視覚障害者に特化した法人であることと、全国的にも希少な働き、生活し、訓練が受けられる施設であることを強みとして、選ばれる法人、選ばれる施設として生まれ変わることを確認し、ビジョン検討委員会は3年間をもって役割を終えることとなった。

#### 4. 2019 年度最重要課題 「障害者支援施設 洛西寮」 定員充足への対策検討

法人の慢性的な赤字の大きな原因のひとつが、主たる収入を担っている洛西寮の定員割れである。2018 年度の約 1,258 万円の赤字決算も、洛西寮の利用者 4 名が老人ホームへ移行し収入減となったためである。経営を安定させるには、洛西寮の利用者定員をいかに充足させ黒字化するかであり、以下の理由により就労継続支援 B 型「らくさい作業所」と生活介護「ちくりん」を一体化することを決定した。

2020 年 3 月 31 日付けで、生活介護「ちくりん」定員 20 名は廃止とし、2020 年 4 月 1 日より就労継続支援 B 型「らくさい作業所」定員 20 名を 40 名に増員する。

##### 【 就労継続支援 B 型へ一体化する理由 】

- ア. 生活介護事業所に利用ニーズのある医療ケアや介護が必要な方の受入れが不可能。
- イ. 就労 B 型利用者は登録 25 名で実利用者数は 20 名強（2020 年 1 月現在）で定員は充足している。利用希望の問合せがあるが定員オーバーの懸念から受入れが難しい状況。
- ウ. 既存の利用者の中に、生活介護から就労 B 型への移行希望者が近年増えている。
- エ. 生産活動型（日中支援は作業が中心）の生活介護のわかりにくさがある。
- オ. 洛西寮の支援の強みは働くことであり、授産施設からの基盤である。
- カ. 就労 B 型と生活介護の 2 つの事業所での職員配置が必要で、プログラムも別で縦割りとなり効率が悪い。就労 B 型職員は作業に追われるため、同じ入所者でありながら就労 B 型利用者には生活支援が届きにくい。
- キ. 生活介護利用者は、就労 B 型での作業を十分できる可能性がある。

##### 【 就労継続支援 B 型へ一体化するメリット 】

- ア. 就労 B 型で施設入所のある、働く・訓練・生活の明確な施設コンセプトができる。
- イ. 一体的なプログラムによる支援サービスの均衡化
- ウ. 職員の効率的な配置とワンチームでの支援によるサービスの向上
- エ. 生活介護の支援区分が平均 4 以下であるため、生活介護より就労 B 型のほうが報酬が高くなる可能性がある。
- オ. 利用者の可能性を最大限に引き出せ、自立への目標設定ができる。

## II 各部門別報告

### A. 障害者支援施設「洛西寮」

#### 支援計画

##### 【概要】

支援計画を作成するためにはアセスメントにより、利用者のニーズを十分に把握し支援内容を利用者と共有できるものにし、目標達成に向け、より良い支援につなげられるように努めた。作業の多忙な時期には短縮し、全体会議を行うこともあったが、定期的に支援計画会議を全支援員で行うことを重視してきた。事業所を越えた共通認識の確認や、利用者個々についての現状や課題などの理解を深める場とした。

## 【各事業】

### 1. 生活介護「ちくりん」

#### 【概要】

日中活動（生産活動・レクリエーション等）及び利用者ニーズに応じた個別支援・相談を実施し、生活の質の向上と心理安定に努めた。

#### 【成果】

- ① すべての利用者やほとんどの家族と日程調整などをし、連携強化のための話し合いの場を設けた。（ちくりん廃止に伴うらくさい作業所への移行、老人ホーム移行の提案と手続き、他施設の体験や見学の段取り、今後の方向性の確認・協力依頼を行った）
- ② 利用者の技術向上への支援を行い、3名の利用者が箱の組立技術を習得した。また、他の利用者の多くも、新しい技術を習得し作業の幅を広げている。
- ③ レクリエーションは、利用者の意見を取り入れつつ、引きこもりがちな利用者が運動不足を解消できるように、散策の頻度を高めて実施した。散策をはじめ、初詣、遊園地、喫茶への外出企画にはボランティアに協力をいただき、地域との連携も強化した。他にも、卓球バレーやゴールボールなどのスポーツやカラオケ、調理実習、なども楽しんだ。
- ④ 大掃除を8月に実施し、いつも清掃が十分出来ない箇所の清掃を利用者とともに行った。利用者の衛生面の意識付けにもつながった。

#### 【課題】

- ① 作業支援  
支援員の作業把握・技術向上に向けての取り組み、誰もが説明できる技術指導マニュアルの作成、利用者の就労意識向上に向けての取り組み等
- ② 個々の利用者の生活支援  
個々の利用者寄り添った相談と心理更生、利用者リハ的要素を含む身辺管理の支援等
- ③ B型移行に伴う利用者の生活変化、技術獲得、心理不安に対するフォロー

#### 【実績】

##### ① プログラム等

科目	内容
生産活動(箱作業)	京菓子箱：八つ橋・京の夢丸
調理実習	よもぎ団子、スノーボール
外出	散策、初詣、花見、喫茶
創作活動	七夕飾り作り
娯楽	カラオケ、DVD鑑賞、ティータイム
ちくりん行事	日帰りレク（ひらかたパーク）、お疲れ様会（回転寿司）

バースデー企画	誕生日月に希望先に外出
スポーツ	卓球バレー、ゴールボール

## ②工賃実績

総支給月数 合計③	就労時間 合計①	工賃支払総額 合計②	平均工賃月額 ②÷③	平均工賃時間額 ②÷①
174 月	10,469 時間	1,533,625 円	8,814 円	146.5 円

## 2. 就労継続支援B型「らくさい作業所」

### 【概要】

今年度5月2名、12月1名、3月1名の新規利用者を迎え年度末には登録利用者26名となった。作業体験希望者や支援学校の実習の受け入れ等も行なってきた。その結果、当事業所への入所へと繋がった。

今年度も個々の作業目標に着目し、利用者が継続して取り組む中で作業意欲や自信を引き出す働きかけ等を行った。

特に下半期においては、点字作業、ミシン作業等の受注が多くあり、利用者の時間延長や他部署職員の協力を得ながら作業に取り組んできた。

生活支援においては、必要に応じ、家族や関係機関との連絡・相談を行い連携を図った。

### 【成果】

- ① 新製品作りの取り組みとして、スクエアポーチを作成し商品化した。ビーズ製品や袋物等の既存の製品についてもより良い商品を目指し付加価値を高め販売を行った。
- ② 毎月、自主製品（ショーケース）のディスプレイによる製品紹介の更新を行った。
- ③ 地域や関係機関の催事、保育園等の製品販売に参加し、販路開拓に努め、今年度、新規の催事への参加へと繋がった。
- ④ 利用者個々に応じ販売要員としての接客対応などの働きかけを行い、社会参加への促進に努めた。
- ⑤ 様々な作業に取り組む機会を設け、技術向上に努めた。
- ⑥ 在庫や材料の置場等の物品の整理整頓を行い、限られた作業場内ではあるが作業場環境の整備に努めた。

### 【課題】

- ① 支援員の技術向上と支援スキルの向上
- ② 様々な作業にも対応できる利用者の技術拡充
- ③ ニーズ、需要を把握し、新たな製品開発

## 【実績】

### ① 作業科目一覧

科目	内容
点字印刷	市民しんぶん、市会だより、部局情報誌、盲導犬情報等
封入発送作業	市民しんぶん拡大版、市民ニュースポスター、京都創生PRポスター等
ミシン縫製	下請：和装用袋、ひも通し、袋物、カバンの込み入れ作業等 自主製品：給食袋・体操服入れ・白杖入れ・手提げ袋等
箱作業	京菓子箱：八つ橋・京の夢丸
数珠加工	数珠玉通し
黒豆茶	ティーパックの袋詰め作業

### ② 売上

科目	売上（円）
点字	8,590,894
自主製品	1,043,390
縫製下請	295,624
箱作業	543,720
数珠加工	132,300
黒豆茶	326,880
自販機	369,276
その他	22,390
合計	11,324,474

### ③ 工賃

総支給月数 合計③	就労時間 合計①	工賃支払総額 合計②	平均工賃月額 ②÷③	平均工賃時間額 ②÷①
284 月	24,941 時間	7,062,447 円	24,868 円	283.2 円

## 3. 施設入所支援（夜間支援）

### 【概要】

#### ① 定員確保への取り組み

今年度も利用者の定員確保に向けて、財政再建にも直結するだけに積極的に取り組んできた。

洛西寮の年度当初の入所利用者は、定員を大きく割り込む23名という厳しい状況からのスタートとなった（定員より-7名）。この1年間の施設利用者の動向では、新規入所利用者が4名、退所利用者は1名と総数ではプラス3名となり、昨年度よりも若干改善されたものの、定員より-4名の26名とまだまだ低迷している。今年度の大きな取り組みとしては、内部的には体験入所を積極的に推進してきたこと、外部的には近畿圏内（大阪・神戸方面を中心）の視覚支援学校等への訪問活動や、全国盲学校に洛西寮の施設紹介活動を目的とした緊急実態アンケート調査を実施するなど働きかけを行った。

また今年度、新規入所利用者確保に向けての環境整備として、居室の間仕切りによる個室化を新たに3室整備した。

## ② 安全・安心な施設環境

懸案となっている、入所者の夜間、休日の日中支援については、新たな進展は見られなかった。夜間、早朝における施設利用者の転落事故や負傷事故が、限られた利用者に多発し、引き続き、支援の「目」と注意喚起が不可欠である。しかし、日中支援から夜間支援の橋渡し業務の拡充をはじめ、居室支援、重度者に対する個別支援の関わり等、これまでにない進展する動きも芽生えている。夜間支援における安心・安全な寮生活を送っていただくため、夜勤職員の更なる業務の再点検が必要であると考える。

また今年度も居室の衛生環境面を整備するため、毎週1回定期的に支援員による居室の清掃を実施した。

## 【成果】

- ① 体験入所の受け入れ推進（延べ3件）した結果、2名の新規利用者が入所。
- ② 全国盲学校への緊急実態アンケート調査により2校の盲学校の施設見学があった。
- ③ 利用者の身体機能の維持・減退防止のため、希望利用者全員を対象とした「身体能力測定」の実施による、利用者個別の健康課題の明確化。
- ④ 緊急用カルテの定期的な更新を実施し、常に最新の情報を保持した。
- ⑤ 支援員連絡会にて日勤者から夜勤勤務者への申し送り等を行い、利用者個々の情報の共有化が図れた。
- ⑥ 休日及び夜間想定防災訓練（火災2回、地震1回）を実施した。
- ⑦ 館内の巡回当番業務を明確化し、衛生管理に努めた。

## 【課題】

- ① 洛西寮の施設情報を関係機関に継続的に発信していくなど、利用者確保に向けてのきめ細かな対応策の実施。
- ② 夜間支援における安全・安心な生活環境整備、転倒防止など危機管理対策における夜勤職員業務の見直しを継続検討。
- ③ 夜勤職員・日直職員との共同連絡会の定期化の未実施。
- ④ 利用者の健康維持のため、体力チェックへの取り組みの実施。
- ⑤ 休日及び長期休暇の余暇活動の実施。

## 【各サービス内容】

### 1. 健康管理

#### 【概要】

- ① 利用者個々の目標やニーズ、課題に即した支援計画の実践。
- ② 単独通院が困難な利用者、または急病の利用者に対して、通院介助及び入院時の支援。

#### 【成果】

- ① 訪問体力測定は2年目となり、前年度と比較することで、利用者自身に体力の変化を実感してもらうことができた。初めて受けた利用者も、現在の体力を知り、専門家のアドバイスを受けることで、健康への意識の向上につながった。
- ② 適宜、理学療法士や作業療法士に個別で相談を行い、継続的に専門的な指導を受けることができた。
- ③ 医師の往診で、今年もほぼ全員、眼科検診を受けることができた。
- ④ がん検診については、利用者の負担軽減と継続して行なって頂けるよう、可能なものは定期通院時に検査を行なった。
- ⑤ 歯科検診での衛生士による講話時に、新しい取り組みとして、触図という視覚障害者の為の凹凸がある本を用いて行なっていただいた。触図を触りながら講話を聴くことでイメージがしやすく、より理解を深めることができた。

#### 【課題】

- ① 体力の維持、向上の為の楽しみながら行える定期的な運動
- ② 年齢の若い利用者の各種検診の必要性周知、受診促進
- ③ 身体、精神疾患の多様化・複雑化に伴う個別対応と全体業務のバランス

#### 【実績】

##### ① 利用者の健康診断等の実施状況

期日	実施内容	対象者	人数	実施者等	実施場所
毎月1回	嘱託医健診	希望者(7・2月は全員)	150	洛西寮嘱託医	洛西寮医務室
	寮内健診	全員	456	洛西寮看護師	洛西寮医務室
5月	歯科検診	希望者	6	京都府歯科医師会	洛西寮
6月	眼科健診	希望者	12	医療機関(中路医院)	洛西寮
6月	胃癌検診	50才以上(2年に1回)	1	京都予防医学センター	洛西支所
	大腸癌検診	40才以上	10	京都予防医学センター	洛西支所
6月	基本健診	全員	36	鳥羽健診クリニック	洛西寮
11月	乳癌検診	30才以上女性 (2年に1回)	3	京都予防医学センター	洛西支所
7月 2月	耳鼻科健診	希望者	26	医療機関	豊田医院

通年	子宮癌検診	20才以上女性 (2年に1回)	3	医療機関	洛西ニュータウン病院
通年	前立腺癌検診	50歳以上男性 (2年に1回)	1	医療機関	洛西ニュータウン病院

## ② 通院件数

年度	通院件数
26年度	596 (うち介助 413)
27年度	479 (うち介助 390)
28年度	483 (うち介助 375)
29年度	488 (うち介助 335)
30年度	434 (うち介助 342)
31年度	416 (うち介助 348)

## 2. 食生活と栄養管理

### 【概要】

給食業務委託開始後5年目、この4年7カ月の総括会議を実施し、成果と課題について協議を行った。

栄養士不在が課題であったが、業者の社員栄養士が着任したことにより、細やかな配慮を行った療養食提供もできるようになった。

利用者の栄養状態の維持や改善、食生活の質の向上を図るため、定期的に給食委員会を開催し、献立や調理方法を工夫するとともに、栄養ケア・マネジメント会議等を通じて、多職種と連携しながら個々の特性に配慮した支援について検討を行った。

### 【成果】

- ① 食中毒や感染症に罹患する利用者がなく、安定した食事提供ができた。
- ② 社員栄養士が着任したことにより、献立、味付けともに安定した食事提供ができるようになった。ティータイムも手作り菓子の頻度が増え、好評を得ることができた。
- ③ 誕生月のリクエストメニューや、選択メニュー、鍋料理は今後も継続をと多数意見があった。
- ④ 栄養ケア・マネジメントでは、入所者の健康・栄養状態について、多職種で各立場から検討を行った。(スクリーニング結果の推移について、下記まとめ)
- ⑤ 医師の指示に従った療養食の提供と、健診結果に基づく栄養指導を実施した。

### 【実績】

#### 【栄養ケア・マネジメント】(2020年3月31日現在)

栄養ケア・マネジメントでは、利用者の健康の保持・増進のために最適な栄養ケアを提供する事を目標としてスクリーニングを行いリスク状態を判定し、病気の症状が現れる前に栄養に関する問題を発見する事ができるよう、3ヵ月に1回栄養スクリーニングを実施している。

当施設は視覚障害者に特化した施設で、働く事業所であることから、基本生活は自立できており、リスク判定4項目（①肥満度②体重変化率③血清アルブミン値④食事摂取量）のうち、低栄養に該当する利用者はなく、主に①肥満度、②体重変化率でリスク判定に該当する利用者が多い傾向がある。定期的にスクリーニングを行い、食事摂取量や食事以外の飲食状況（外食、嗜好品（アルコール含む））、健康状態を把握し、いつまでも健康で働き続けられるよう、今後も多職種（支援員、看護師、管理栄養士）で連携し、支援について検討を行なっていく必要がある。

### 【栄養スクリーニング結果の推移】

2019年度入所26名（生活介護ちくりん11名・B型らくさい作業所15名）

### 【リスク該当人数】

①肥満度（やせ・肥満） ②体重変化率（増加・減少） ③血清アルブミン値 ④食事摂取量

	高リスク	中リスク	リスク該当人数(入所26名中)
4月	①1人	①5人②10人④1人	17人(65%)
5月	①2人②1人	①6人②9人④1人	19人(73%)
6月	①2人②1人	①6人②6人④1人	16人(61%)
7月	①2人	①5人②8人④1人	16人(61%)
8月	①2人②1人	①6人②3人④1人	13人(50%)
9月	①2人	①5人②5人④1人	13人(50%)
10月	①2人②1人	①6人②8人④1人	18人(69%)
11月	①2人	①6人②6人④1人	15人(57%)
12月	①2人②1人	①7人②10人④1人	21人(80%)
1月	①2人②1人	①7人②6人④1人	17人(65%)
2月	①2人	①8人②9人④1人	20人(77%)
3月	①2人	①6人②10人④1人	19人(77%)

### 【課題】

- ① 視覚障害者が満足を得られる献立、季節感を感じられる食事提供の追求。
- ② 食品、及び調理室の衛生管理の徹底を図り、安心かつ安全な食事提供の実施。

## 3. 歩行訓練

### 【概要】

利用者個々の要望に応じ、個々のニーズ・歩行技術に併せ実施した。

### 【内容】

- ① 新しい利用者等に対する施設館内でのファミリアリゼーション（環境理解）
- ② 通所利用者に対する単独通所のための歩行訓練
- ③ 入所利用者に対する単独歩行での帰省のための歩行訓練

- ④ 利用者に対する白杖基本操作獲得・道路などの環境構造理解・状況把握
- ⑤ 利用者に対する寮周辺店舗や歯科までのファミリアリゼーション（環境理解）
- ⑥ 利用者に対するQOL向上を実現する社会参加のための歩行訓練
- ⑦ 利用者に対する店舗などでの実践を想定した社会適応訓練

#### 【成果】

- ① 利用者に対して単独歩行による通所を想定した歩行訓練を行い、通所が可能になり、施設利用に繋がっている。
- ② 入所利用者に対して実家などへの単独帰省をするための歩行訓練を行い、家族や本人への心理的支援にもつながっている。
- ③ 新しい利用者等に対して洛西寮館内のオリエンテーションを行い、施設利用をスムーズにしている。
- ④ 洛西寮から近隣の商店や歯科医院までの歩行訓練により日常生活の行動範囲を拡大し、日常生活の自立を支援している。
- ⑤ 利用者がより広範囲な社会参加を可能にするための歩行訓練により、QOL向上による安定した生活のための支援を提供している。
- ⑥ 実習生や新人研修生に対して、視覚障害の理解と手引き歩行についての講習を行ったほか、ボランティアに対する講習で、視覚障害に対する理解を深めている。

#### 【課題】

- ① 利用者個々のニーズに対する十分な訓練時間の確保ができていない。

#### 【実績】（延べ人数）

- ① 実家から洛西寮への帰省等の訓練 3名
- ② 洛西寮館内のファミリアリゼーション 7名
- ③ 洛西寮周辺の医療機関、店舗などへの外出の訓練 2名

## 4. 余暇活動支援（共通の活動）

#### 【概要】

らくさい作業所、ちくりんとの共通活動を通して事業所間の交流を深め、利用者一人一人が余暇活動を楽しみ、リフレッシュできる環境作りに努めた。

第1、第2、第3、第4水曜日を共通活動日とし、第1、第2、第3金曜日は、ボランティアによる選択科目（点字）のサービス提供を行った。

#### 【成果】

- ① 毎月第2水曜日に外部講師による「ヨガ」を開催した。心の安定により身体の花健康も得ることを目的として、呼吸、姿勢、瞑想を組み合わせ、心身の緊張をほぐした。支援員と一緒にやろう、やすらぎの時間となっている。

- ② 音楽（合唱指導）を第 4 水曜日に実施し、リクエスト曲や季節に応じた曲の指導を受け、音楽を楽しみ心身共にリフレッシュできた。今年度も洛西寮まつり・クリスマス会の行事には、全員参加で合唱発表を行った。
- ③ 第 1 水曜日は、職員による選択科目「社会」を企画し実施した。
- ④ 第 1、第 3 水曜日実施の「喫茶サービス」事業は、利用者の参加率も高く、事業所間の利用者の交流や職員との交流が図れた。
- ⑤ 長期休暇、土日祝の日直職員による日中活動の提供を行った。特に茶話会が好評であった。

### 【課題】

- ① 視覚障害者団体、地域等の行事・催し等の参加への働きかけと引率者の確保
- ② 休日及び長期休暇等の余暇活動の提供
- ③ 参加率の高い企画等の検討
- ④ 運動不足になりがちな利用者の身体を無理なく動かせる企画の検討

### 【実績】

選択科目

科目	利用者人数	内容
点字	4 名	各習熟度に応じた点字の読み書き練習
社会	8～10 名	暦と地理と体について（自由参加）

## 5. ボランティア支援サービス

### 【概要】

今年度は、総勢 36 名の登録者があり、利用者個々の課題やニーズに応じた日常生活上の支援の充実を図るため、様々な分野で協力を得た。

### 【成果】

- ① 洛西寮まつり、春の行事、休日の個別の外出支援（買い物、映画鑑賞、散策等）、作業所別の余暇活動支援における手引きの確保
- ② 選択科目における点字指導
- ③ 利用者とボランティアとの交流を深める自治会行事の実施（七夕会・クリスマス会）
- ④ 朗読ボランティアによる、毎週月曜日の「こんな話あんな話」の情報提供、水曜日の「読みかきサービス」および毎週土曜日の対面朗読
- ⑤ 作業ボランティアの日常化（下請箱作業と縫製作業）
- ⑥ 手引きボランティアの費用負担ゼロ化

## 【課題】

- ① ボランティア4名ほどは毎月1回の活動をしていただき、かなり負担がしいられている状況。
- ② 入所施設利用者の移動支援サービスが一部利用できるようになった人が3名ほどおり、より多くの人に可能となるよう強く要望することの継続が必要。
- ③ 活発なボランティア活動に対しての表彰の検討

## 【実績】

- ① ボランティア登録者数 36名（2020年3月31日現在）
- ② ボランティア活動実績

活動内容	延人数
作業	167
朗読	515
選択科目	65
手引き	86
行事	105
合計	938

※朗読のうち 読み書きサービス実績

サービス利用者合計	寮生	外部	ボランティア
115	108	7	74

## B. 三療事業部

### 1. 盲人ホーム 美鈴

#### 【概要】

2019年度利用者動向は、新規利用者2名（男性1名女性1名）、修了利用者1名であり、女性2名、男性5名、合計7名と美鈴開所以来初7名体制であった。

患者数は、5,271名（前年比113%）

1月からの治療費値上げ、3月からの治療時間変更、新型コロナウイルス禍など幾多の変化や苦難にあいながら、前年度にくらべ患者数、売り上げともに伸びることができた。

また、利用者1名デイサービスセンター「虹」に就職。

施術技術スキルアップのため患者さん個々の治療方法の練習や治療の見直しを行った。

また、就職対策のため面接のイメージトレーニングや模擬面接を何度も繰り返し練習を実施した。

## 【成果】

### ① 患者数の推移

- ・患者数 5,271 名 (前年比 113%)
- ・鍼の患者数は 901 名 前年度比 100% 総患者数に対し 17%
- ・「京都市はり・きゅう・マッサージ施術補助券」利用者増。延べ利用人数 352 名

### ② 利用者の技術向上のための取り組み

- ・利用者間や指導員による施術スキルチェックをしてスキルアップに努めた。
- ・施術した患者の施術報告を作成して、利用者と指導員で施術方法や手技などを話し合い学習した。
- ・学習会で、各々興味のある施術方法等を報告し合い理解を深め、患者の治療効果を高めるよう努力した。

### ③ 「ほくほく」より、1 名の実習生を受け入れ実施した。

### ④ 洛西寮まつりにて無料奉仕マッサージを行い好評を得た。

### ⑤ 秋の船岡スタンダードにて有料マッサージに参加した。

### ⑥ 近隣小学校 生活科「まちたんけん」8 名が訪問。

### ⑦ 1 名就職。(デイサービスセンター「虹」)

## 【課題】

- ① 支援計画の導入による利用者の就労移行、開業への支援。
- ② モニタリング導入による利用者の自己分析自己管理の促進。
- ③ モチベーションアップへの支援力強化。
- ④ 利用者のコンディションへの関わり。

## 【実績】

- ① 年間患者数=5,273 名 (前年比 113%)、月平均 440 名
- ② 年間売上=17,561,700 円 (前年比 112%)

## 2. 就労継続支援 A 型「らくさい治療院」

### 【概要】

はじめに、2019 年度は、患者数、売り上げともに前年の 102%となり、利用者の個別月別指名数も 11 人中 9 人が前年を超える結果となった。この結果の要因としては、患者の訴えに対して、どのようなアプローチが適切か、そして、施術の再現性を意識することで、クオリティーを維持することができたからだと判断している。

また、職員に限らず利用者も傾聴のスキルを身に付けることにより、利用者と職員間、患者と利用者間のコミュニケーションが充実したと感じている。

さらに、三療のプロとしてコンディションの調整を意識すること、また、メンタル面のコントロールが難しい利用者に対しては、傾聴の姿勢でコミュニケーションをとることにより、カタル

シス効果（浄化作用）を促進し、施術への影響を最小限に抑えることで、クオリティーの高い施術を患者に還元することができた。

### 【成果】

- ① 患者数・売上、前年の 102%
- ② 利用者個別月別指名数 11 人中 9 人上昇
- ③ 若手の利用者の施術スキルアップ
- ④ 治療院全体の接客力アップ

### 【課題】

- ① 利用者の 1 年間通してのコンディションの調整
- ② 利用者の 1 年間通しての施術の再現性
- ③ 配慮ある就労の見直し
- ④ 就労定着支援

昨年度、病院に就職した者は 1 名いるが、治療院での配慮ある中で就労ができていた分、就職先では、本人が気づかないまま、周囲に混乱を招いている結果となっている。加えて、福祉サービスを一度ゼロにしたいという要望があり、その福祉サービスをゼロにした状況の中、生活に乱れが生じた。

就労定着への支援を試みたいが、本人が求めている場合や、自分の状態や障害特性に気づいていない場合などに、どのようにして就労定着へ結び付けていけば良いかがこれからの大きな課題となる。

### 【実績】

- ① 年間患者数=6,411 名（前年比 102%）月平均 534 名
- ② 年間売上=21,298,200 円（前年比 103%）
- ③ 平均賃金

総支給月数 合計③	就労時間 合計①	工賃支払総額 合計②	平均工賃月額 ②÷③	平均工賃時間額 ②÷①
143	18,838	21,224,332	148,422	1,127

- ④ 年度別月平均個別指名数の推移（%）

年度	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
2017	72.3	73	55.3	49.4	32.8	23.3	19.9	19.6	11.3		
2018	67.1	65.2	55.3	51.3	38.4	30	25.4	23.8	13.3	10.8	
2019	68	60.1	60	53.1	34.9	36.7	32.8	24.3	14.3	21.4	2

## 【らくさい治療院、美鈴共通】

三療のニーズの発掘に向けた事業拡充は、中長期計画の検討段階に入り、同時に、研修センターとしては、指導員養成講座（仮称）を描く段階に入っている。

次に、京都三療関係団体連絡会に参加し情報交換を行うことで、京都における三療の状況が把握できたとともに、京マ会への加入と参加に至った。

## C. 法人

### 1. 事務局

#### 【成果】

##### ① 法人運営

- ・ 財政強化対策本部の設置と運営
- ・ ビジョン検討委員会による洛西寮 B 型一体化への具体的な方策の検討と実施
- ・ 全日本盲学校教育研究大会会場にて洛西寮ブース設置による施設広報 7 月
- ・ ホームページの更新による、魅力有る施設の発信 10 月
- ・ 近畿圏の視覚支援学校等への訪問活動 5 カ所 10～11 月
- ・ 盲学校への利用ニーズ把握のためのアンケート調査 11 月
- ・ 老人ホーム待機者のニーズ調査等 2 月
- ・ 居室 3 部屋を個室化。

##### ② 京都市関係

- ・ 洛西寮 B 型一体化による京都市指定事業所更新
- ・ スマイルサポート京都市指定事業所更新
- ・ 補助金
  - 盲人ホーム事業補助金
  - 民間社会福祉施設サービス向上補助金（施設整備借入金元本償還）

##### ③ 助成金等関係

- ・ 特定就職困難者雇用開発助成金
- ・ 障害者雇用納付金制度報奨金

##### ④ 機関誌「楽西（らくさい）」の発行

年 2 回（8 月と 1 月）発行。各事業所の状況や施設行事の報告、製品の紹介、利用者の様子等を発信した。楽しい雰囲気とわかりやすい内容で発信できるよう心がけた。

##### ⑤ ホームページの更新

ホームページのレイアウトデザインを一新してスマホ対応とした。シンプルでわかりやすいデザインで動画も取り入れ、洛西寮の楽しい雰囲気や支援方針を発信し、施設に興味を持っていただけるように工夫した。

## 【課題】

- ① 洛西寮利用者の獲得
- ② 洛西寮の建物・設備等老朽化による更新
- ③ 採算性のある事業運営の検討
- ④ 事業活動計算書（損益計算書）における増減差額の黒字化
- ⑤ 人材育成

## 【実績】

### ① 事業運営

事業(所)名	サービス事業	事業開始年月日	定員
障害者支援施設 洛西寮 ・洛西寮 ・ちくりん ・らくさい作業所	施設入所支援（30名） 生活介護（20名） 就労継続支援B型（20名）	平成23年10月1日 平成23年10月1日 平成25年4月1日	40名
点字出版施設 紫野点字社	点字出版事業	昭和57年4月	
京都府中途失明者巡回生活指導員派遣事業	更生相談事業	昭和52年10月	
盲人ホーム美鈴	地域生活支援事業	昭和57年4月	20名
らくさい治療院	就労継続支援A型	平成25年4月1日	10名
障害者相談支援事業所 スマイルサポート	特定相談支援事業	平成26年3月1日	

### ② 理事会・評議員会の開催

#### ・理事会

月	日	主な内容	出席者数
5	29	平成30年度事業報告並びに決算案について	理事7名 監事2名
6	19	理事長・常務理事の選定について	理事8名 監事2名
9	11	嘱託職員就業規則の制定について	理事7名 監事2名
12	25	生活介護事業廃止及び就労継続支援B型の定員増について	理事7名 監事2名
3	11	2020年度事業計画案及び予算案について	理事8名 監事2名

#### ・評議員会

月	日	内 容	出席者数
6	15	平成30年度事業報告並びに決算案について	理事3名 評議員8名 監事2名

・ 監査会

月	日	内 容	出席者数
5	24	平成 30 年度事業報告及び会計監査について	理事 2 名 監事 2 名

③ 法人登記事項

理事長の重任、資産の変更登記（2019 年 6 月 26 日）

## 2. 点字出版施設「紫野点字社」

### 【概要】

京都市からの点字印刷を中心に受注した。市民しんぶん・市会だより点字版は年間契約し、毎月安定した仕事量を確保できた。

その他の受注では、上下水道局・保健福祉局・文化市民局・環境政策局・都市計画局・交通局・選挙管理委員会などから市民しんぶん挟み込みタブロイド紙の点字版を製作した。また、会議等で使用される少数数の資料にも対応した。

京都市以外では、全国盲導犬施設連合会や社会福祉協議会、視覚障害者関係団体、ボランティアグループなどからの受注があった。

### 【成果】

- ① 視覚障害者やボランティアの活動を援助する点字印刷を迅速に安価に行えた。
- ② 視覚障害者の不足しがちな情報を提供するための出版活動を推進した。
- ③ らくさい作業所の作業を確保し、安定した工賃配分と就労意欲を向上させた。

### 【課題】

- ① 市民しんぶん点字版の短期間での製作日程への対応と効率化
- ② 少数資料等への迅速な対応
- ③ らくさい作業所の点字印刷能力と受注への調整
- ④ 収支における採算性への検討
- ⑤ 後継者の育成

### 【実績】

	実績（枚）	前年比実績（％）
製版	5,335	106%
塩ビ版印刷	407,771	104%
パソコン製版	844	306%
パソコン印刷	22,712	235%
点字名刺、はがき	925	36%
点字シール	2,897	197%

発送	2,648	161%
墨字印刷	30,725	114%
墨字入力	9	113%

### 3. 京都府失明者巡回生活指導員派遣事業

#### 【概要】

- ① 本年度も、南丹、乙訓、山城北、山城南の医療圏域の相談活動を展開した。また、関係機関との連携にも力を入れ、利用者発掘と視覚障害啓発へとつなげた。
- ② 人事異動に伴い、今年度は2名のうち1名の相談員が新しく相談業務に従事したが、膨大な個別ケースも随時、引継ぎを受けつつ訪問相談活動を行ったため、大きな問題もなく2人の相談員が連携をとりながら、業務遂行に着手できた。

#### 【成果】

- ① 補装具・日常生活用具・機器の紹介、活用方法についての支援。
- ② 障害年金請求申請手続きの説明など、経済的問題解決に対する情報提供と支援。
- ③ 視覚障害受障後の障害受容相談支援と生活訓練への橋渡し。
- ④ 福祉サービス、制度利用の情報提供と行政への橋渡し。
- ⑤ 介護保険利用者に対する制度利用の支援など、介護事業所との橋渡し。
- ⑥ 一般就労・福祉的就労の環境調整とその心理的支援。
- ⑦ 社会参加促進、当事者同士の交流、情報交換できる場の提供。
- ⑧ 急な状況変化が生じた相談者への緊急的な環境調整。
- ⑨ 医療との連携による、障害福祉の情報提供と制度利用までの調整。

#### 【課題】

- ① 地道な潜在的視覚障害相談ニーズの掘り起こしによる相談件数の増加と個々の相談ケースの深刻化などによる、マンパワー不足解消のためのスタッフの更なる配置、スキルアップ。
- ② 市町村窓口に対する本事業の更なる周知と、連携・広報などの協力支援態勢の構築。
- ③ 関係機関との連携の強化。

#### 【実績】

- ① 過去5年間の相談件数比較（延回数、2018年度より南部の集団への支援含む、サテライトは含まない）

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
450	664	969	947	1186

② 南部地域拠点（サテライト）活動状況

実施地域	回数	参加者数（延べ）
京田辺	10	91
長岡京	11	129
宇治	11	162
交流	1	26
散策・企画	8	49
計	41	457

③ 府内相談会実施状況

実施日	開催地	会場	時間
6月24日	京田辺市	京田辺市商工会	10:30~15:30
11月25日	南丹市	南丹広域振興局園部総合庁舎	10:30~15:30
2月28日	精華町	精華町役場	10:30~15:30
3月10日	長岡京市	長岡市立中央公民館（中止）	10:30~15:30

#### 4. 指定特定相談支援事業「障害者相談支援事業所 スマイルサポート」

【概要】

- ① 計画相談の主な利用者は当法人の施設利用者であり、障害者福祉サービスの支給決定がスムーズに行われるようにコーディネートした。
- ② ピアカウンセリングを導入し、洛西寮利用者のカウンセリングを行なっている。

【成果】

- ① アセスメント、サービス等利用計画案・確定版、モニタリングの作成、サービス担当者会議の開催。
- ② ピアカウンセリングを全員対象で毎回、順番で行なっているが、希望者がある場合はその都度、優先して実施している。

【課題】

- ① 相談支援専門員が施設生活支援員と兼務しているため、時間の確保が困難。
- ② 通所者の場合、他の行政区、京都市外、京都府外の利用者の計画相談を受ける時もあるが、その地域の社会福祉資源や独自制度等の詳細な把握が難しく、十分な対応をとることができない。

## 【実績】

### ① 計画相談

提供月	計画	モニタリング
4月	8	3
5月	1	0
6月	1	4
7月	0	3
8月	0	1
9月	0	5
10月	0	3
11月	14	3
12月	1	8
1月	2	3
2月	1	1
3月	3	0
合計	31名	34名

・カウンセリング・・・84名（延べ人数）

## 5. 主催行事

### A. 第34回 洛西寮まつり

#### 【概要】

開催日時 2019年9月7日（土） 11時～15時

会場 障害者支援施設 洛西寮、らくさい治療院

内容

#### ① イベントホール

利用者自治会「洛友会」による合唱、ゲーム大会、大抽選会、各事業所PR紹介、他施設自主製品販売、パンの販売

#### ② 前庭

模擬店（飲食販売）、洛友会ゲームコーナー、遊びコーナー、クレープの販売

#### ③ 支援室

洛西寮自主製品販売

視覚障害体験（点字名刺作り、ビーズ通し、点字クイズ、アイマスク体験、機器紹介等）

#### ④ 会議室

マッサージ無料体験

#### ⑤ 治療院

鍼&ホットピロー無料体験

## 【成果】

- ① 主催者として利用者の意識を高めるため、一緒になってまつりの目的を考えるとところからスタートし、意見を集めた。
- ② 集めた意見を参考に企画し、イベントの1つとして事業所毎のPRを実施。啓発に繋げた。
- ③ 全利用者の役割分担を作成した。
- ④ 利用者家族へ協力を依頼した。
- ⑤ 昨年度に引き続き広報活動に力を入れ、集客へと繋げた。
- ⑥ 昨年同様、子どもから大人まで楽しめる参加型のゲーム大会・抽選会を実施。集客へと繋げ、地域にまつりが定着していることを実感することができた。

## 【課題】

- ① 継続した学生ボランティアの確保
- ② 雨天時における4Fホールの使い方
- ③ 抽選会における利用者の参加可否
- ④ 駐車場の確保が来年度は未定となった。

## 【実績】

来場者：約350名

協力ボランティア：53名（登録22、学生他19、利用者家族6）

みやびワイズメンズクラブ 6名

後援・助成：京都新聞社会福祉事業団、読売光と愛の事業団

後援：京都府視覚障害者協会、京都市社会福祉協議会

協力：みやびワイズメンズクラブ

## B. 西京区視覚障害者支援ボランティア養成講座

### 【概要】

今年度内ではボランティア養成講座を実施しなかった。2020年1月15日に西京区社会福祉協議会の担当職員、西京視覚障害者協会の松永氏、当法人のボランティア養成担当職員で昨年度の講座でボランティア登録数0名になったことを再確認し、次年度開催に向けて、企画や広報宣伝手段の再検討を行った。

### 【成果】

西京区社会福祉協議会、西京視覚障害者協会との共催で、地域での連携を維持し、ボランティア獲得の実情に対する認識共有を計った。

### 【課題】

ボランティア登録者につながる地域住民に講座を受けてもらうために、心を動かすような広報手段の検討。

### 【実績】

共催団体での会議1回、西京区広報（市民しんぶん区版）掲載の原稿作成。

## 6. 共催事業

### A. 第53回白杖安全デー（京都市内）

#### 【概要】

日時：2019年8月31日（日）10:00～12:00、13:00～14:40、15:00～15:30

会場：物販店研修・飲食店研修 ポルタプラザ（京都駅前地下街）

集会 ポルタプラザ

街頭啓発 地下鉄烏丸線「京都」駅

参加者 約300名

#### 【成果】

- ① 人が集まる京都駅地下街で集会できたことは、視覚障害者の移動環境を啓発する意味で大きな成果があった。
- ② 啓発活動では、地下鉄京都駅の改札内で京都市交通局の職員と共に、シュプレヒコールや啓発のチラシを用いて、より広範な市民や観光客に対して外出時のマナーや意識の向上、視覚障害者福祉への理解を求め、視覚障害者にとっての「声かけ」の重要性を訴えることができた。
- ③ 用品店（5店舗）と飲食店（4店舗）での研修では、視覚障害者に対する声掛けや商品の説明の仕方、店内移動やメニュー・テーブル周辺の説明など、当事者の状態に合った対応の研修ができた。

### B. 第45回あい・らぶ・ふえあ（視覚障害者福祉啓発事業）

#### 【概要】

開催期間：2020年2月5日（水）～8日（土）10時～18時

会場：大丸京都店6階イベントホール

内容：

#### ① 催し

レモンさんトークショー、三線の演奏・琴の演奏、京都府立盲学校音楽発表 絵画コンクール表彰式 等

#### ② 体験・展示コーナー

点字体験、マッサージ体験、盲導犬体験、手引き体験、盲人スポーツ紹介、便利グッズ紹介、ボランティア活動紹介

#### ③ 絵画コンクール

小学生を対象にした絵画を展示

#### ④ 販売コーナー

関西盲導犬協会、FS トモニー、洛西寮

参加者：約1,100人（4日間）